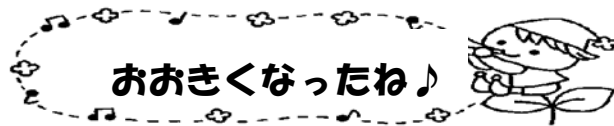




春を待ちわびていたかのように、木々や花が芽吹き始めました。かわいい子どもたちと出逢い、心も体も大きく成長した姿を見ることができたことに喜びを感じています。また、成長の著しい大事な時期を子どもたちと一緒に過ごし、保護者の皆様と子どもたちの輝く姿を見守っていったことをとても嬉しく思っています。

何かと行き届かないこともあり、ご迷惑をおかけしましたが、あたたかく見守っていただきありがとうございました。



いすぐみ

入園時期はそれぞれでしたが、すぐに園のリズムに慣れることができ、ミルクをよく飲み、離乳食も喜んで食べていました。お昼寝は、最初は数分しか寝られませんでした。今は安心してたっぷり眠れるようになりました。保育者とのコミュニケーションによく笑い、言葉や動作の模倣が見られるようになりました。“友だち”の存在に気付き、トラブルになりそうな子の側にいき、仲介するように大きな声でアピールすることもあります。“どうしたの？”と言うようなそんな姿を微笑ましく見ています。つたい歩き、一人歩き、保育者に支えられて歩くなど、元気に体を動かして遊べるようになりました。



うさぎぐみ

入園当初はあんなに泣いていた子どもたちも、すっかり園生活に慣れて毎日笑顔で楽しそうに過ごしてくれるようになりました。一語文でのやり取りが、保育者の言葉を模倣することが多くなり、今では「せんせい、おはよう」と挨拶してくれたり「〇〇しようか」と友だちに誘いかけたり、コミュニケーションや会話が広がりました。

困っている友だちや泣いている友だちがいたら、優しく頭をなでてくれる子も見られます。遊びでは、ままごと遊びでのごちそう作り、人形のお世話など一人でじっくり遊ぶことや、友だちとの関わりもたくさん見られるようになりました。



ご卒園おめでとうございます



こくまぐみ

園生活2年目で、はりきってスタートした4月でした。「〇〇したい」という要求をしっかりと保育者に伝えてくれていました。友だちとの関わりがぐんと増えたことから、おもちゃや場所の取り合いになり、涙がたくさん出ることもありましたが、“こんなことも楽しそう”と保育者といっしょに遊びを探したり、“こんな気持ちだったんだ”と自分や友だちの思いに気付いたりできる、ますますすてきなお姉さんお兄さんになりました。「〇〇できたよ」「見ててね」など自信が感じられる言葉に「さすが！」とたくさん声をかけています。